

PQ-10・PC-10D・FC-5 1280CH 取扱説明書

1. モードの切り替え

1 * 0.	2 * 0	1、ノーマルモード	2がセットされている場合
1 * 1.	2 * 0	2、ダウンモード	5、4thダウンモード
1 * 0.	2 * 1	3、ダブルダウンモード	6、5thダウンモード
1 * 1.	2 * 1	4、トリプルダウンモード	7、アップモード
			8、ダブルアップモード

* READY中やモニター中に、3キーでモードを切り替えられますが、表示が変わりませんので # キーで確認して下さい。

- 2, 3 * 1 . . . 自局の免許番号以外の番号が出力されます。さらに5分タイマーがカットされ5分たってもリセットしません。
- 3, 4 * 1 . . . 群番号に関係なく呼出してくるすべての局と交信可能。
- 4, 5 * 1 . . . 新機種(158ch)の1分間通話モードに対応しています。新機種を1分間通話モードで呼び出す時だけ使用する。(スキャンモードがハーフモードを含むスキャンになります。)
- 5, 6 * 1 . . . 640chオール待ち受け(スーパーマリオ)になります。1~4(5~8)のどのモードについてもコール、リコールが可能です。
- 6, 7 * 1 . . . スペシャルになります。また、すべての機能は、*に続いて0を入力すると解除します。
- 7, 8 * 1 . . . メモリー10局待ち受けが可能になります。(表示を含めると11局待ち受け)
- 8 * 0 . . . メモリー9と表示群番号との2局待ち受けになります。

※ ダイレクトキーについて (リセットキーを押さないでセットするキー)

- 1 キー . . . メモリー1に表示群番号がコピーされます。自局の群番号は変わりません。
- 2 キー . . . 640ch(1~4)、1280ch(5~8)のモードが替わります。
- 3 キー . . . モードが替わります。一回押すたびに1ダウンずつ下がる。
- 7 キー . . . (モニター及び通話中) 1/2chダウン。(1分間通話モードセットの場合1chダウン)
- 9 キー . . . (モニター及び通話中) 1/2chアップ。(1分間通話モードセットの場合1chアップ)
- # キー . . . チャンネル表示をします。通話中は、送信が終わると自動的にチャンネルを表示します。
- 4 ~ 6 . 8 . 0 キー . . . 通話中及びモニター中に RST キーの代わりに使えます。

※ 特殊群番号の設定、解読について
特殊群番号の設定及び解読が出来ます。

マイクキーの使い方

*	キー Aに対応します。 “H” を表示します。	SELECT . . . 0
	Bに対応します。 “b” を表示します。	解読のみ。 END . . . 1
#	キー Cに対応します。 “C” を表示します。	P. T. T. . . . 2
RCL	キー . . . Dに対応します。 “d” を表示します。	
	Eに対応します。 “ ” を表示します。	解読のみ。
MON	キー . . . Fに対応します。 “ ” を表示します。	

※ 特徴

- 1) 新機種対応
- 2) 640ch待ち受け80ch待ち受けの切り換え OK
- 3) コールされて、応答しなければ自動的にリセットします。送信後は解除します。
- 4) スキャンモードが切り換えです。(80/158/320/640)
- 5) 群番号を自動で解読します。しかも、自局の群番号は固定します。
- 6) 5分タイマーカット
- 7) “00000” リコール OK
- 8) モニター割り込み OK
- 9) 特殊群番号が設定できます。
- 10) リセット中、通話中にSELECTキーで群番号を変更できます。
- 11) チャンネルをダイレクトに設定できます。
- 12) モニター中、通話中にチャンネル、アップ、ダウン OK

1280CH専用の改造方法

EPROMの26番ピンをおこし、
CPUの24番ピンにジャンパーする。

